

2018年11月9日

上場会社名 原田工業株式会社  
 コード番号 6904 URL <http://www.harada.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 章二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部長兼管理本部長 (氏名) 佐々木 徹

TEL 03-3765-4321

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	21,345	0.8	726	37.7	611	53.9	541	33.6
2018年3月期第2四半期	21,523	5.7	1,165	10.3	1,327	104.6	815	104.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 3百万円 ( 98.8%) 2018年3月期第2四半期 256百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	24.89	
2018年3月期第2四半期	37.49	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	33,371	13,425	40.2	617.23
2018年3月期	34,330	13,639	39.7	627.09

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 13,425百万円 2018年3月期 13,639百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		10.00	10.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当7円50銭 記念配当2円50銭

2019年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当7円50銭

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	2.2	2,100	6.8	2,000	14.9	1,400	82.2	64.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	21,758,000 株	2018年3月期	21,758,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	7,102 株	2018年3月期	7,098 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	21,750,901 株	2018年3月期2Q	21,750,949 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

(日付の表示変更)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結貸借対照表関係注記)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では良好な雇用情勢の継続や設備投資、個人消費の好調等により堅調に推移いたしました。欧州では雇用環境、個人消費等の改善に支えられた緩やかな景気の拡大が続いております。アジアにおいては、中国では輸出は堅調に推移したものの、個人消費はやや減速となり、アセアン地域においては、内需を中心とした堅調な景気が続いております。

日本国内経済につきましては、自然災害の影響があったものの、個人消費の持ち直しや雇用、所得情勢の堅調さを背景とした緩やかな回復が続いております。

当社グループの属する自動車業界におきましては、自動車の生産台数が北中米では減産となったものの、日本、アジア、欧州の各地域で増産となり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増産となりました。

このような状況のもと、長期ビジョンである「HARADA NEXSTAGE 19」達成のための二つの柱である「競争の優位性の強化」と「最適な企業基盤の確立」を目指し、各領域における施策を推進すると共に、これまで実施してまいりました「コスト構造改革」を継続して推進し、「材料費の削減」、「工場生産性の改革」等の諸施策に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、為替の影響もあり213億45百万円（前年同期比0.8%減）となりました。利益面につきましては、販管費率は改善したものの、売上原価率が上昇したことにより、営業利益は7億26百万円（同37.7%減）となりましたが、当第2四半期連結会計期間の売上原価率は、第1四半期連結会計期間に比較しておおよそ2.0%の改善傾向にあります。また、経常利益は営業利益額の減少等により6億11百万円（同53.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億41百万円（同33.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## ①日本

自動車生産台数の増加を背景とした拡販活動等により、外部売上高は72億99百万円（同6.4%増）、セグメント間の内部売上高は17億86百万円（同18.0%減）、営業利益は、売上高が増加し、販管費率は改善したものの売上原価率の上昇により3億33百万円（同35.9%減）となりました。

## ②アジア

中国市場及びアセアン市場における自動車生産台数は増加したものの、為替の影響等により外部売上高は57億12百万円（同1.7%減）、セグメント間の内部売上高は63億3百万円（同6.2%減）、営業利益は40百万円（同88.0%減）となりました。

## ③北中米

北米市場における自動車生産台数の減少等により、外部売上高は62億59百万円（同5.7%減）、セグメント間の内部売上高は37百万円（同6.1%増）、営業利益は2億25百万円（同3.9%増）となりました。

## ④欧州

欧州市場における外部売上高は20億74百万円（同6.3%減）、セグメント間の内部売上高は3億79百万円（同0.9%減）、営業利益は売上原価率の改善により78百万円（同93.8%増）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は255億25百万円（前連結会計年度末265億62百万円）となり、10億37百万円減少いたしました。これは主に「現金及び預金」が6億82百万円、「原材料及び貯蔵品」が2億55百万円、「受取手形及び売掛金」が2億27百万円減少したことによるものであります。固定資産は78億46百万円（前連結会計年度末77億67百万円）となり、78百万円増加いたしました。これは主に「投資その他の資産」が68百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は333億71百万円（前連結会計年度末343億30百万円）となり、9億58百万円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は184億45百万円（前連結会計年度末186億28百万円）となり、1億83百万円減少いたしました。これは主に「1年内返済予定の長期借入金」が4億17百万円、「支払手形及び買掛金」が1億59百万円増加し、「未払法人税等」が4億93百万円減少したことによるものであります。固定負債は15億1百万円（前連結会計年度末20億62百万円）となり、5億61百万円減少いたしました。これは主に「長期借入金」が5億円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は199億46百万円（前連結会計年度末206億90百万円）となり、7億44百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は134億25百万円（前連結会計年度末136億39百万円）となり、2億14百万円減少いたしました。これは主に「利益剰余金」が3億23百万円増加し、「為替換算調整勘定」が5億52百万円減少したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して6億72百万円減少し、69億14百万円（前連結会計年度末比8.9%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、「法人税等の支払額」7億54百万円等の減少要因がありましたが、「税金等調整前四半期純利益」7億40百万円、「減価償却費」4億21百万円等の増加要因により、2億75百万円の収入（前年同期は8億25百万円の収入）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、「有形固定資産の取得による支出」5億6百万円等の減少要因により、5億36百万円の支出（前年同期は5億13百万円の支出）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、「短期借入れによる収入」166億11百万円等の増加要因がありましたが、「短期借入金の返済による支出」165億29百万円、「配当金の支払額」2億16百万円等の減少要因により、2億25百万円の支出（前年同期は7億88百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、2018年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,616,296	6,933,602
受取手形及び売掛金	8,039,027	7,811,173
商品及び製品	5,021,495	5,096,242
仕掛品	647,985	619,690
原材料及び貯蔵品	4,444,457	4,188,686
その他	814,547	895,075
貸倒引当金	△21,181	△18,860
流動資産合計	26,562,627	25,525,611
固定資産		
有形固定資産	5,071,120	5,076,018
無形固定資産	337,030	342,251
投資その他の資産	2,359,703	2,427,864
固定資産合計	7,767,855	7,846,134
資産合計	34,330,483	33,371,745
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,242,114	3,401,209
電子記録債務	701,798	774,380
短期借入金	10,420,003	10,543,433
1年内返済予定の長期借入金	112,500	530,000
未払法人税等	2,052,388	1,559,052
賞与引当金	323,342	346,147
役員賞与引当金	41,875	16,750
その他	1,734,267	1,274,154
流動負債合計	18,628,288	18,445,128
固定負債		
長期借入金	1,500,000	1,000,000
退職給付に係る負債	167,702	140,142
その他	394,690	361,131
固定負債合計	2,062,392	1,501,274
負債合計	20,690,681	19,946,403
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	9,455,477	9,779,426
自己株式	△2,343	△2,346
株主資本合計	13,332,297	13,656,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,082	39,251
為替換算調整勘定	379,882	△172,465
退職給付に係る調整累計額	△103,461	△97,686
その他の包括利益累計額合計	307,504	△230,900
純資産合計	13,639,801	13,425,342
負債純資産合計	34,330,483	33,371,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	21,523,028	21,345,082
売上原価	16,166,182	16,552,341
売上総利益	5,356,845	4,792,740
販売費及び一般管理費	4,190,982	4,065,933
営業利益	1,165,863	726,807
営業外収益		
受取利息	5,886	21,757
為替差益	121,157	—
受取保険金	65,930	—
その他	54,273	57,596
営業外収益合計	247,248	79,354
営業外費用		
支払利息	78,028	91,523
為替差損	—	98,476
その他	7,970	4,259
営業外費用合計	85,999	194,260
経常利益	1,327,112	611,900
特別利益		
固定資産売却益	4,507	132,035
特別利益合計	4,507	132,035
特別損失		
減損損失	1,155	991
固定資産除却損	3,248	2,097
その他	192	—
特別損失合計	4,596	3,089
税金等調整前四半期純利益	1,327,023	740,846
法人税、住民税及び事業税	562,668	319,038
法人税等調整額	△51,119	△119,649
法人税等合計	511,549	199,388
四半期純利益	815,473	541,457
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	815,473	541,457

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	815,473	541,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△288	8,168
為替換算調整勘定	△564,901	△552,348
退職給付に係る調整額	5,887	5,774
その他の包括利益合計	△559,302	△538,404
四半期包括利益	256,171	3,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,171	3,053
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,327,023	740,846
減価償却費	430,481	421,899
有形固定資産売却損益(△は益)	△4,314	△132,035
支払利息	78,028	91,523
売上債権の増減額(△は増加)	△103,036	98,167
たな卸資産の増減額(△は増加)	256,709	△24,559
仕入債務の増減額(△は減少)	△215,088	202,260
その他	△605,579	△313,335
小計	1,164,223	1,084,768
法人税等の支払額	△294,868	△754,158
利息の支払額	△75,494	△78,479
その他の収入	31,672	23,436
営業活動によるキャッシュ・フロー	825,533	275,566
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△492,954	△506,786
その他	△20,947	△30,174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△513,902	△536,961
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	13,389,959	16,611,748
短期借入金の返済による支出	△12,092,105	△16,529,577
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,362,500	△82,500
配当金の支払額	△216,560	△216,391
その他	△7,628	△9,023
財務活動によるキャッシュ・フロー	△788,835	△225,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	△131,291	△184,968
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△608,495	△672,108
現金及び現金同等物の期首残高	6,314,252	7,587,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,705,756	6,914,991

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

（四半期連結貸借対照表関係注記）

偶発債務（移転価格税制関係）

当社の連結子会社である大連原田工業有限公司は、当社及び当社の連結子会社との取引に関し、中国税務当局による移転価格税制に係る調査を受けており、当社は現時点で発生の可能性が高いと予想される追徴税の負担見込額を未払法人税等として計上しております。現時点においては、調査の最終的な結果を得ておらず、当社が見積り計上した金額以上の負担の有無及びその金額は今後の交渉状況等によることとなります。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	6,858,434	5,809,949	6,641,180	2,213,463	21,523,028	-	21,523,028
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,179,890	6,722,507	35,326	382,792	9,320,517	△9,320,517	-
計	9,038,324	12,532,457	6,676,507	2,596,255	30,843,545	△9,320,517	21,523,028
セグメント利益	520,538	339,834	216,680	40,401	1,117,454	48,408	1,165,863

(注) 1. セグメント利益の調整額48,408千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が1,155千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,299,227	5,712,053	6,259,576	2,074,224	21,345,082	-	21,345,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,786,782	6,303,246	37,472	379,479	8,506,980	△8,506,980	-
計	9,086,010	12,015,300	6,297,049	2,453,704	29,852,063	△8,506,980	21,345,082
セグメント利益	333,678	40,619	225,141	78,289	677,729	49,077	726,807

(注) 1. セグメント利益の調整額49,077千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が991千円であります。